

5) 第五日目 目国内岳(1220m) ~ 幌加内 H19年6月22日(金) 快晴・北海道に夏が来た！！

- ・予定通り4:30起床。駐車場には10数台の車が止まり、キャンピングカーなどデカイのが3台。空はうす曇。パンと牛乳で朝食をとっていると、周りが騒がしくなり何かを指して騒いでいる。その方向を見ると、羊蹄山の頂上から太陽がまさに顔を出したところ、陽光が輝いている。すばらしい！！早速写真に収めた。その後またすぐに雲に覆われた。
- ・予定通り5:30に出発。昆布駅というとても懐かしい駅(かなりきれいな駅になっている)の前を通り、新見温泉あたりまで登ってくると雲が切れ太陽が顔を出してきた。狭い山道の両側にはこんなに朝早くから車が列を成して止まっている。「何しているの?」「ネマガリダケをとっている」と。
- ・6:00すぎに新見峠に到着、20台くらい止まれる立派な駐車場があるがネマガリダケ採りの人の車でかなり埋まっている。「ヒグマはいませんか?」「会ったこともない、一度会ってみたいものだ」と皆さん涼しい顔。しかし駐車場には「ヒグマ出没、注意!」の看板が立っている。
- ・6:30目国内岳を目指して登山開始、空はどんどん晴れて真夏の太陽が差しはじめた。さっそくイチゴやゴゼンタチバナの花の歓迎を受け、その先はササと草原の広がる気持ちの良い道を登ってゆく。シラネアオイ、ツマトリソウ、チシマフウロ、エゾイチゲ・・・沢山の花が咲いている。快晴になった山道を花の写真を撮りながらのんびり登ったので頂上まで2時間半もかかった。頂上は今までの道とはがらっと変わってごつごつの岩山。なかなか面白い山だ。



羊蹄山の頂上から太陽



目国内岳山頂



新見峠「熊出没注意!」

- ・下りは道草をとらず一目散、1時間半で下り 10:40に駐車場についた。大汗で濡れたシャツや靴下、露で濡れたスパッツや靴を真夏の太陽で乾かし、11:30に駐車場を出た。
- ・向かうは今日の宿泊予定地、幌加内の道の駅「森と湖の里ほろかない」。
- 途中通った余市は毛利さんの出生地ということで、道の駅「スペース・アップルよいち」には毛利さんの記念館が。

- ・小樽から高速道路に乗り幌加内を目指す(300km)。



今登ってきた目国内岳を後ろに見ながら快晴の道を走る

・すっきりと晴れ渡った真夏の爽やかな高速道路、ほとんど車も通っていない。道の両側には満開の花を付けたアカシヤの林が続く。さすが北海道、アカシヤだらけ、気持ちいい道をひた走る。



アカシヤが満開の高速道路



ルオント温泉

・5:10 幌加内の道の駅「森と湖の里ほろかない」に到着。写真や日記の整理をしてルオント温泉に。別棟に温泉とレストランがあり、ひと風呂浴びてから名物と称する「ルオント温泉そば」と生ビール。
・駐車場には一台も車が無く私だけ、寂しいところ。20:00就寝。ひと寝入りして周りを見ると車が2台止まっている。夜中にならぬ車の出入りがあるようだ。
・夜中の2時ころ、石でもぶつけられるような音で目が覚めた、何だ！雨だ！すごい大粒の雨。昨日の真夏の太陽はどうした。一晩中雨が降っていた。

[見られた花] 28種(名前のわかったもの 21種 + 名前不詳 7種)

・ノウゴウイチゴ ・マイズルソウ ・エンレイソウ ・シラネアオイ ・ゴゼンタチバナ
・チシマフーロ ・ツマトリソウ ・フギレオオバキスミレ ・ベニバナイチゴ ・ムラサキヤシオツツジ
・ウコンウツギ ・エゾイチゲ ・(ニセ)アカシヤ ・カラマツソウ ・コミヤマカタバミ ・サンカヨウ
・ショウジョウバカマ ・ミツバオウレン ・ムシカリ ・ヒメカンスゲ ・エゾノヨツバムグラ



チシマフーロ